

ジエーン

JAMME 7



橘 瑞樹
櫻 林子
mizuki tachibana
rinko sakura





Final

Leave no trace of "CHEIRON."



ケイロンの足跡

JANE

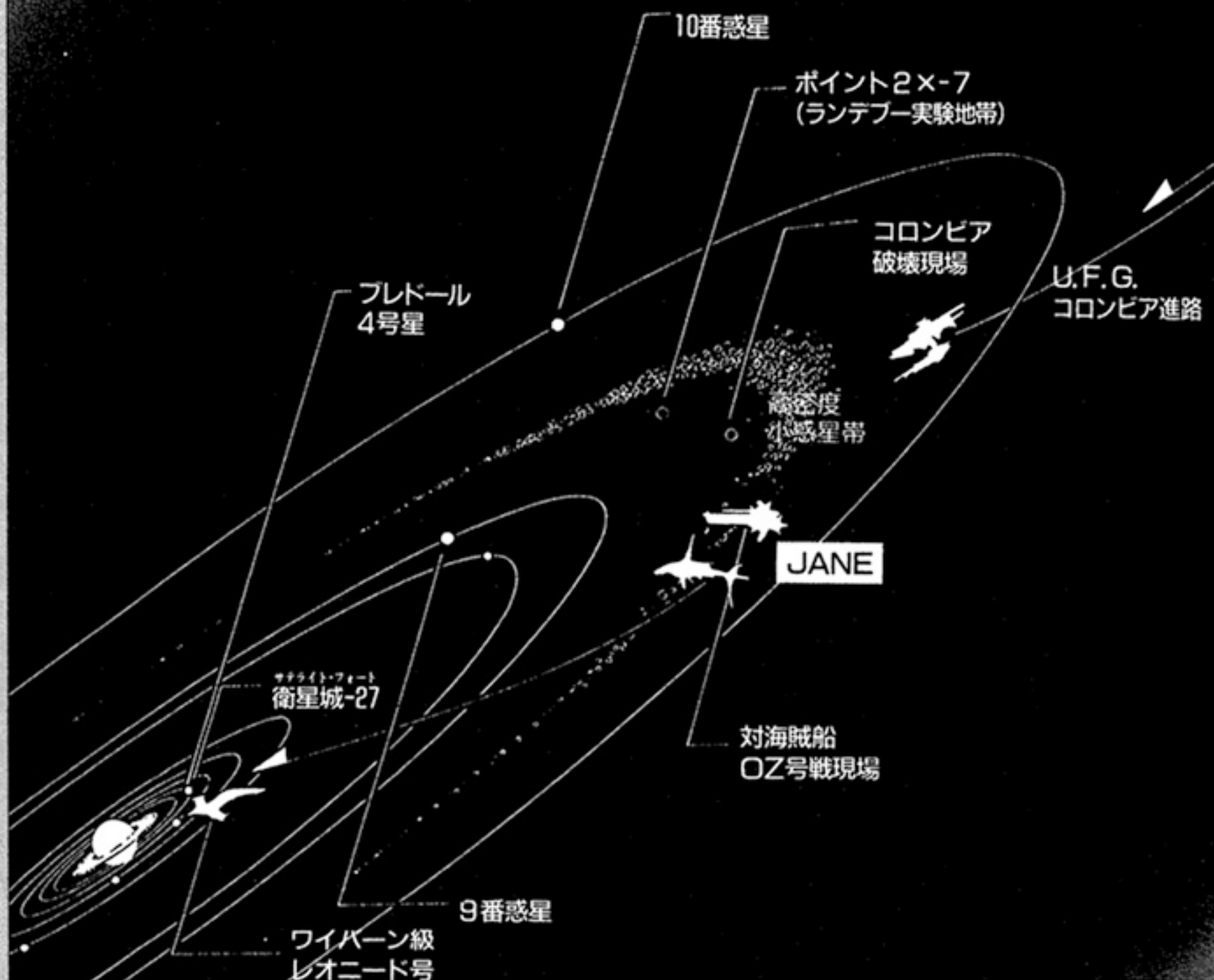
Log.2

Leave no trace of "Cheiron"

橘瑞樹 & 櫻林子

MIZUKI TACHIBANA RINKO SAKURA

7



新・フレドール星系概略図

JANE TIMES

ジェーン 必須講読

JANE

前回までのあらすじ

超光速航宙艦 JANE TV はイカロス計画の実験船に選ばれ、巨大軌道要塞 U.F.G. 第27ステーション、通称「衛星城27」へ寄港した。この実験が成功すれば宇宙空間での輸送システムを飛躍的に進歩させる事が出来るが、フレドール星系のパーシエス執政官は実験が都市に与える弊害を指摘し、計画に反対する。そしてこの狼も実験に疑問を感じていた。実は彼が以前所属していたウインドシャーク号のメル・ビル・フラウ艦長は、ウープ実験中の事故で死亡していたのだ。ところが副官のラシードは今回の実験を純粋に技術の進歩として喜んでいて、それが狼と悪見の対立を見る羽目に。そんな背景を余所に実験は開始され、発案者のコーネフ博士を乗せたコロンビア号と合流する為、狼は高密度小惑星帯ポイント2x-7へ向かい、ラシードは実験に必要なコンピュータ「アポガドロン5000」の制御の為、衛星城に残ることになった。だが、ランデブー航行を行うはずだったコロンビア号は、無残にも破壊されており、代わりに小惑星帯には海賊船OZ号がフラウ艦長、コーネフ博士、クルー達を人質として捕え、潜んでいた。調べていくなかで狼達は海賊が市民権を手に入れている可能性に気づき、何者かが「キャッチボール」の実験データを手する為、彼等と手を組んだのではないかと疑惑を抱く。同じ頃、ラシード達のもとにコーネフ研究所の研究員が訪れ、ウープの飛距離を伸ばす実験に携わっていた人間が全員謎の死を遂げていたことが明らかになる。そして、それが只のウープ事故ではなかったということも。ラシードはセウス達と秘密裡に捜査を開始し、第56ステーションの管理モニターが映し出していた怪しい人影を発見した。その頃、狼は実験中のキャッチボールシステムを使い、無謀にも海賊船に乗込んでいた。人質奪回に文字どおり体当たりで挑む狼達。激しい白兵戦の末、やっとの事で勝利を収める。それと同時に首領のドロシー以下海賊達が何者かの依頼を受けて JANE に挑んで来た事が判明する。だがこれで終わりではなかった。JANE がスト要員の一人ミス・アキルスが何者かに掛けられた暗示によって自己転位を誘発する引き金を引いてしまい、JANE は重力崩壊の危機に陥った。だがこの時、海賊から救出したコーネフ博士の活躍により彼等は窮地を救われる。そしてこの事件によりウインドシャーク号の事故は、陰謀によるものであったと確信された。その頃、テロリストとしての正体を現した、パーシエス執政官とその一味は、衛星城の超光速艇に乗り込み脱出を試みていた。だが、狼の奇策によってそれらは失敗に終わり、人質にとられていた加山提督も無事取り戻す事に成功したのだが……

JANET Vth乗組員2



ナジェール大尉

次席科学主任/フェイスカー人。JANETにて今回は衛星域にいる副長の代理を務める。テレバス保持者。



ゼウス・V・フォーマン中尉

科学士官/ガニメデ出身の地球人。科学部門コンピュータ課責任者。レーダの伴侶。



リン・リベラルタ少佐

医務主任/地球人。JANETにてアイドル的存在。緊急時の行動は迅速。



ロッド・ハミルトン少佐

次席医務主任 カウンセラー。火星育ちの地球人。冗談好きだが思慮深く頼れる存在。



真昼 狼大佐

指揮官 艦長/地球人

JANET Vthの艦長を務める彼は「黄金の隼」という異名で慕われている。



ラシード・C・ジャクス中佐

次席指揮官/副長/科学主任

シンシア人(平均寿命300年)

艦長、真昼 狼の片腕的存在!?

今回の主な登場人物



加山 提督

本部(太陽系・地球)から、今回の任務の為に派遣された惑星連邦の提督。



イオ・セム・ブラウ艦長

コロムビア号の艦長でメル・ビル・ブラウの息子。コーネフ博士の護衛をしている。



バージェス執政官

衛星域が周回している母星・ブレドール4号星の執政官。

JANE用語解説

注① CSS

超弦空間通信システム

注② LM(Light Hour)

1時間で光が進む距離の単位。

注③ G-クリスタル

微細ブラックホールを超巨大電荷により結晶化させ自己制御により安定化させたもの。ワーブ船の推進装置等に用いられる。制御を失うと構造が崩壊して、一体化しブラックホールへと進化する。

注④ 超弦ブラックホール

外板(G-クリスタル)に使用。量子ブラックホールが超電荷粒子によって包まれた回転位状態。

注⑤ システム・インテグレーター

複雑で大規模な情報システムの企画から運用開始までを一括して請け負うシステム開発サービス提供者。

注⑥ テュブリカイト

複製

注⑦ フォー

プログラム

注⑧ RSS

超弦空間レーダーシステム

注⑨ アポガド口数

アポガド口数(6.02×10²³)の数倍程度の演算ユニットを持つ実在規模現象計算用の高速並列コンピューター。

注⑩ キュッチボール

宇宙空間における輸送システムの1つ。その俗称。

注⑪ 磁気ソリトン

重力の大きな変化に伴って発生するパルス状の単独波。空間転位時に発生する事から船の航路探査に利用される。

注⑫ アクティブ・センサー

レーダー等、センサー自体がエネルギーを放出し、その反射等を利用して対象を感知するシステム。

注⑬ パッシブセンサー

対象自体が放出、または自然に反射するエネルギーを感知するシステム。アクティブセンサーにくらべ自由度が低い。

注⑭ 自衛位

艦船のG-クリスタルが巨大ブラックホールへと進化すると近傍星系全体を巻き込んだ大規模な重力崩壊が生じ得る。それを防ぐ為、G-クリスタルの制御が完全に失われる前に、艦船が自動的に行う宇宙外への転位。乗員にとっては、ノーマル・シップの自爆と同じ意味を持つ。

注⑯ ドップラー・シフト

光を放射した座標系における光の周波数とそれを観測した座標系における周波数との間のズレ。相対論的には両者の座標系の時間流速の違いにより生じる。

注⑰ F. I. A. (Federal Investigation Agency)

惑星連邦中央捜査局

注⑱ F. S. S. (Federal Secret Service)

惑星連邦中央情報局

注⑲ S. I. C. (STARFLEET Investigation Committee)

艦隊司令部特別調査委員会

JANE

7

CONTENTS

LEAVE NO TRACE OF "CHEIRON"

ケイロンの足跡

P3

それいけ！JANE大冒険

P186

PERSONAL DATA

P190

PRESENTED

by

MIZUKI TACHIBANA

RINKO SAKURA



LEAVE NO TRACE OF "CHEIRON"



君をみると

息子に責められてる様な気がしてならない

外宇宙パトロール艦
ウインド・シャーク号
艦長
メル・ビル・ブラウ準将



今はつきりと

それを
確信したよ

だが 眞実は違った――

ワイプ実験中の
事故と言う
空前絶後の大惨事で
殉職した

歴史書の一頁には

悲運の指揮官として
その名を連ねている…





事故の原因が
父にあるんじゃないかと…

人格を分析する上で
判断材料が必要だとか…



友人関係に至るまで
しつこく
付きまとった
挙句

趣味のテニスの
ラケットまで押収
して行った…

家族は勿論…



あの頃随分
口惜しい思いを
させられたけど…



その裏に
こうゆう理由が
あったとはね…

…申し訳
ありません



だが
残念だったな

何もかも
コロンビアと共に
散ってしまった

父から送られた
B・Dプレゼントも…

3年前に
探し漏れがあったと
しても
今となっちゃ…

もうそれも
分からない

……





本当に真実を
暴こうとする者が
現れるまで



安全に
保管される処に…



キャプテン・ブラウが
万が一の事を予想して
証拠を遺そうと
思ったら…



もつとずっと
分かりにくい場所に
隠すだろう…



最後に父上と
違ったのは
いつですか？

フゥ



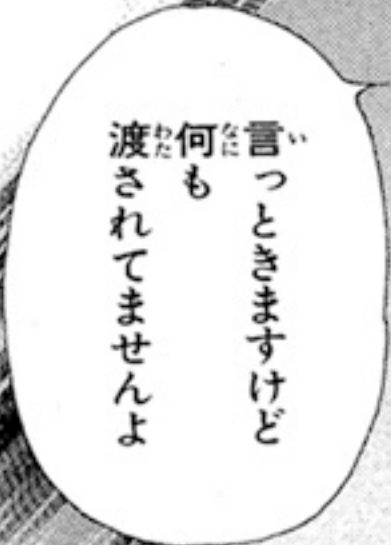
キャプテン…



はっ

事故が起こる
3週間前に

第56ステーション
出航前のW・Sで…



言いつとぎますけど
何も渡されてませんよ



よく覚えて
ますね



…何度も
聞かれましたから



そして
そのまま一晩
W・S艦長室に
泊めてもらった…

その報告をしに
久しぶりに
父に会いに行った
んです



当時
私もアストレイデに
副長として
配属されたばかりで



それだけです

…あ…





その夜

父は先日
貴方に会ったと...

嬉しそうに
話していた

では
イオ

よく思い出して
くれ

：ブラウ
艦長：

どうか
イオと呼んで
下さい



君はその時
何を持っていた？

荷物は？

ステーションに
ホテルを取って
いたので
W・Sの父に会いに
行った時は
手ブラでした

服装も
アストレイデの
ユニフォームのまま
でしたし……

